

「精神疾患における脳磁図を用いた脳機能検査法の開発」についての説明書 (健常対象者の方用)

1. 研究の目的と意義

この研究は、脳磁図検査法という身体に影響の全くない装置を用いることにより、視覚・聴覚刺激の認知に関連して頭部から生じている微弱な磁場を記録し、こころの病気の新しい検査法を開発するという研究目的で行われます。皆様にお願ひするのは、健常対照者としてのご協力です。

2. 検査の内容

- ① この検査に先立ち、必要に応じて頭部 MRI 撮影を受けて頂くことがあります（所要時間 15 分程度）。
- ② この検査と同時に静脈採血を行います（10cc 程度）。
- ③ この検査は、視覚・聴覚刺激の認知に関連して頭部から生じている微弱な磁場を記録し、こころの病気の新しい検査法を開発するという研究目的で行われます。皆様にお願ひするのは、健常対照者としてのご協力です。
- ④ 事前に金属（鍵、イヤリング、入歯、ワイヤー入り下着 等）を身体から取り外し、検査用着衣に着替えて頂きます。
- ⑤ 検査前準備として、磁気遮蔽室外の椅子に腰掛けて頂き、頭部形状の入力を行います（所要時間 15 分程度）。
- ⑥ 検査中は、磁気遮蔽室内で椅子に腰掛けるか又はベッドに横になる姿勢を保って頂きます（所要時間 30 分程度）。
- ⑦ 検査前準備および検査中は、頭部をなるべく動かさないようにして下さい。
- ⑧ この検査はいつでもご希望により中止することができますので、不快に感じるときはいつでも検査者に申し出て下さい。
- ⑨ 磁気遮蔽室内の様子は外からビデオカメラで見えるようになっており、また磁気遮蔽室内で声を出せば外の検査者にインターフォンを介していつでも意志を伝えることができます。

3. 検査に同意しない場合

この検査を受けることに同意しなくても何ら不利益となることはありません。

4. 検査に同意した場合

この検査を受けることに同意した後でも、この検査の中止を希望する場合は、いつでも申し出により即刻取りやめることができます。希望により中止となってもその後何ら不利益となることはありません。

5. プライバシーについて

検査データは検査者が責任をもって保管し、検査データが公表される時も個人名、イニ

シヤル等は使用しませんので、この検査に関してのプライバシーは保護され秘密保持されます。同じプロトコールでの研究が群馬大学医学部附属病院においても行われており、皆様の検査データと合わせて解析することがありますが、その際も検査データは匿名化して扱われ、検査者が厳重に管理いたします。採血した検体の分析は、匿名化された上で、千葉大学にて分析し、分析後の検体は即座に廃棄し、分析結果は東京大学で管理されます。検査と面接で得られた情報は学会発表や論文、書籍などで使用させていただきます。通常の診療で得られた情報とあわせて個別の症例として報告させていただくこともあります。結果を発表する際には個人の特が可能な情報を削除し、個人情報の保護に十分配慮いたします。

6. 説明文書の改変の可能性

この説明文書は今後改変する可能性があります。改変した際には東京大学医学部附属病院精神神経科のホームページで公表します。

(http://www.h.u-tokyo.ac.jp/patient/depts/n_md/index.html)

説明者（連絡先）

〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

東京大学医学部附属病院精神神経科

笠井 清登

電話 03-3815-5411 内線 33605